

施政概要(案)

平成25年第2回(6月)定例会

四街道市

※ 予定事項等が含まれていることや5月28日時点の内容である
ことから、今後の状況により、内容が変更する場合があります

【はじめに】

本日、ここに、平成25年第2回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議の上、ご認定くださるようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、ごみ処理施設については、平成20年8月に佐倉市、酒々井町清掃組合へ加入協議を依頼し、翌21年7月に組合から協議を進める旨の回答を受けて以降、加入協議を鋭意進めてまいりましたが、加入負担金の考え方の相違や本市が切望する土曜日搬入が受け入れられないことなど、合意に至らない事項がありました。

このため、本年4月2日には組合から、加入協議については白紙に戻す旨の文書が送付され、検討の結果、加入協議を断念することとし、5月1日に組合に対し、その旨を文書により報告しました。

今後は、本市単独によるごみ処理を進める必要があることから、適正処理に向け、関係地区と協議を行ってまいります。

次に、首都圏などで流行している風しんへの対策については、千葉県内においても患者数が増加していることや今後夏場にかけて更に増加する恐れがあることから、先天性風しん症候群の発生を予防するための緊急対策として、5月7日よりワクチン接種費用の一部を助成する事業を開始しました。助成対象者は妊娠を予定し、又は希望している女性とその夫等、助成の対象となる接種の期間は本年4月1日から来年3月31日までとし、接種後に申請を受け付け、償還払いの方法により助成を行っています。

今後も、市民の安全・安心の確保と健康保持を図るため、迅速かつ的確な対応を図ってまいります。

新たな総合計画については、2月のタウンミーティングなどでお示ししました基本構想の骨子案に基づきまして、庁内組織を中心に基本構想案及び基本計画骨子案の作成に向け、検討を進めています。なお、今月末から開催を予定する2回目のタウンミーティングでは、基本計画の骨子案をお示ししてまいりたいと考えています。今後も充実した市民参加を図りながら、計画策定作業を進めてまいります。

災害対応・防災対策の再構築に向けた取組については、24年度に実施しま

した防災アセスメント調査の結果を基に、地域防災計画見直しのための基本方針を作成するとともに、防災会議を開催し、ご意見をいただくなど、新たな地域防災計画の策定に向けた取組を進めているところです。

市庁舎の整備については、庁舎整備検討委員会を昨年度から3回開催し、整備の方針などについてご意見をいただいているところです。今後も早期の耐震化と効果的かつ効率的な整備に向け、検討を進めてまいります。

行財政改革については、26年度を開始年度とする第7次行財政改革推進計画の策定に向け、新たな総合計画との調整を図りながら、庁内組織での検討を進めるとともに、適宜、行財政改革審議会を開催し、ご意見をいただいているところです。

なお、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与の減額支給措置を踏まえ、給与の特例として、7月から本年度末までの9か月間、私、副市長及び教育長並びに一般職員の給料等を減額することを本定例会に提案させていただいています。

続きまして、主要施策の概要について申し上げます。

【分野別の施策】

「教育と文化が花開くまち」の分野でございますが、学校教育については、昨年度に引き続き「命の教育」を推進し、児童生徒の「思いやる心、強い心、自尊感情」の育成といじめを許さない学校づくりへの支援を行っています。その一環として、本年度より、スクールソーシャルワーカー1名を配置し、要請のあった学校や青少年育成センターでの相談活動を開始しました。

また、魅力ある授業づくりの創造に向け、全小中学校を授業力向上研究校に指定するとともに、多様な学びを推進するため、外国語指導助手（ALT）を全ての小中学校に配置するほか、外国語教育コーディネーターの派遣も開始しました。

さらに、「未来のまちづくり 36のアクション」に基づき、順次計画的に進めてまいりました小学校1・2年生を対象とした少人数学級の推進において、本年度から、市内小学校の全ての対象学年で少人数学級又は少人数指導やチームティーチングを実施するとともに、必要に応じ、市内小中学校への生徒指導補充教員や外国人児童生徒を対象とした語学指導員等を配置するなど、きめ細かな指導を行っています。

学校施設の整備・充実では、27年4月からの供用開始に向け、栗山小学校の校舎改築工事に着工しました。

社会教育については、四街道公民館において、10月以降の実施を予定する耐震補強等工事に向け、一部の会議室等の利用を制限して実施してまいりました。アスベスト除去工事が5月下旬に完了しました。

図書館では、利用者サービスの向上に向け、4月から窓口等の図書館業務を委託し、開館日を拡大しました。

芸術文化活動の支援については、文化センターホール棟耐震改修工事が順調に進捗しており、7月2日にリニューアルオープンする予定です。本事業では耐震改修と併せて、客席及びステージの全面的な改修も行いますことから、安心して快適なホールとして、ご活用いただけるものと考えています。

生涯スポーツについては、4月から供用を開始した鹿放ヶ丘多目的スポーツ広場の利用促進に向け、市政だよりや市ホームページ等により、情報提供に努めています。

「環境との共生を進めるまち」の分野でございますが、共生型社会づくりについては、「第2次環境基本計画」において、審議会でのご意見をいただきながら作成を進めてまいりました骨子案に基づき、引き続き策定作業に取り組んでいるところです。

また、低炭素社会実現への寄与と地域経済の振興等を目的として、国の緊急経済対策の一環であります「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」を活用し、既存防犯灯の基礎調査及びリース方式を活用したLED照明への更新を行ってまいりたいと考えております。

公園・緑地については、栗山みどりの保全事業において、市民との協働で保全活動に取り組むとともに、駐車場の整備や休耕田の復元に向け、準備作業を進めています。

環境保全・衛生については、市営霊園において、合葬式墓地合同埋蔵施設の整備に向け、建設工事に着手しました。

「ゆとりと安全を実感できるまち」の分野でございますが、生活基盤については、排水対策として、昨年度、豪雨災害を受けた旭ヶ丘6号線の雨水対策工事を進めておりましたが、バイパス管の設置が地下水の影響により遅延したことから、工期の延長を要し、25年度に事業を繰り越すものとなりました。現在、一日も早い完成を目指し、鋭意工事を進めています。また、第3排水路上流域の溢水対策として、地下貯留施設を設置するための実施設計に向け、準備を進めています。

水道事業では、安定した給水と安全性を確保するため、鹿渡地先ほか2か所において、老朽管の更新などの配水改善工事を発注しました。また、継続的に

進めております物井特定土地区画整理事業地内の水道管移設及び仮設工事を発注しました。

消防体制の充実・強化では、千葉県北東部及び南部において、本市を含む20消防本部が共同運用する「ちば消防共同指令センター」が、4月から消防指令業務を開始しました。この共同運用により、業務が効率化するとともに、各消防本部の迅速な連携や情報の共有が可能になり、大規模災害時等の相互応援体制も強化されました。

消防団については、5月25日に印西市での水防演習に参加するなど、水害対策能力の向上に努めています。また、6月30日に八街市で開催されます第33回千葉県消防協会印旛支部消防操法大会に向けて、本市の代表として出場する四街道地区の第4分団及び内黒田地区の第16分団が、訓練に励んでおりますので、皆様の応援をお願いします。

「生涯安心して暮らせるまち」の分野でございますが、健康づくりについては、自殺対策に関係機関と一体的に取り組むため、情報を共有し、連携を図ることを目的とした自殺対策連絡会議の開催に向け、準備作業を進めているところです。

子ども家庭福祉については、もねの里地区で整備が進められておりました民間保育園が4月に開園したことにより、保育所の定員が60人増加しました。本年度も引き続き保育所入所待機児童の解消に向けた取組を進めてまいります。

また、子ども医療費助成の自己負担金を8月から廃止し、中学校3年生までの医療費を完全無料化するため、諸準備を進めています。

「活力と魅力が躍動するまち」の分野でございますが、道路、交通については、交通の円滑化と安全確保を図るため、鹿渡大日線ほか2路線の舗装修繕工事を発注するとともに、昨年度に引き続き、旭中学校の通学路である山梨11号線の道路改良工事を発注しました。また、大日五差路改良事業では、用地取得に向け、不動産鑑定評価及び物件調査の委託を発注しました。

なお、国の「地域における総合的な老朽化対策、事前防災・減災対策の集中的支援」により、道路事業に対する国からの財政支援が、採択要件の緩和と共に著しく増額されたことから、市民の皆様からの要望を十分に踏まえた上で、これを積極的に活用し、市道の舗装修繕工事を大幅に拡充して、実施してまいりたいと考えています。

公共交通関係では、JR四街道駅南口エレベーターの26年度中の設置、供用開始に向け、関係機関と協議を進めています。

都市計画道路の整備では、3・3・1号山梨白井線の用地取得に努めるとと

もに、副道造成工事や橋脚工事等の発注に向け、準備を進めています。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、繰越事業としております雨水排水抑制のための地下貯留施設に関連した整備を促進します。また、地区内21街区の保留地売買契約を5月8日に締結したところです。

成台中土地区画整理事業では、引き続き地区内の都市計画道路3・3・1号山梨臼井線や区画道路の整備を促進してまいります。

物井特定土地区画整理事業では、引き続き地区内の物井駅前広場や都市計画道路の整備を促進してまいります。

商工業については、中心市街地と商業の活性化を促進するため、空き店舗等の活用に対し支援を行う「空き店舗等活用事業補助制度」を4月に創設し、5月1日から募集を開始しました。

「市民協働で歩むまち」の分野でございますが、市民参加については、「みんな地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」で2月に採択された11事業に対し、各団体への補助金交付等の手続を進めています。また、市が設定した地域課題等に対して、市民団体が事業を提案する「市アイデア提案」について、事業テーマの選定等の準備を進めています。

なお、「みんな地域づくりセンター」では、更なる利用促進を図るため、4月にホームページを開設いたしました。市民の皆様へ、より一層活用していただくため、地域づくりに役立つ様々な情報を発信してまいります。

また、ふるさとまつりについては、市民の皆様楽しんでいただけるよう、22年度以前と同様に2日間の開催を予定しています。今後、開催に向け、準備を進めてまいります。

行財政については、平成25年度で指定期間が満了する施設の新たな指定管理者の選定に向け、準備を進めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年6月3日

四街道市長 佐 渡 斉